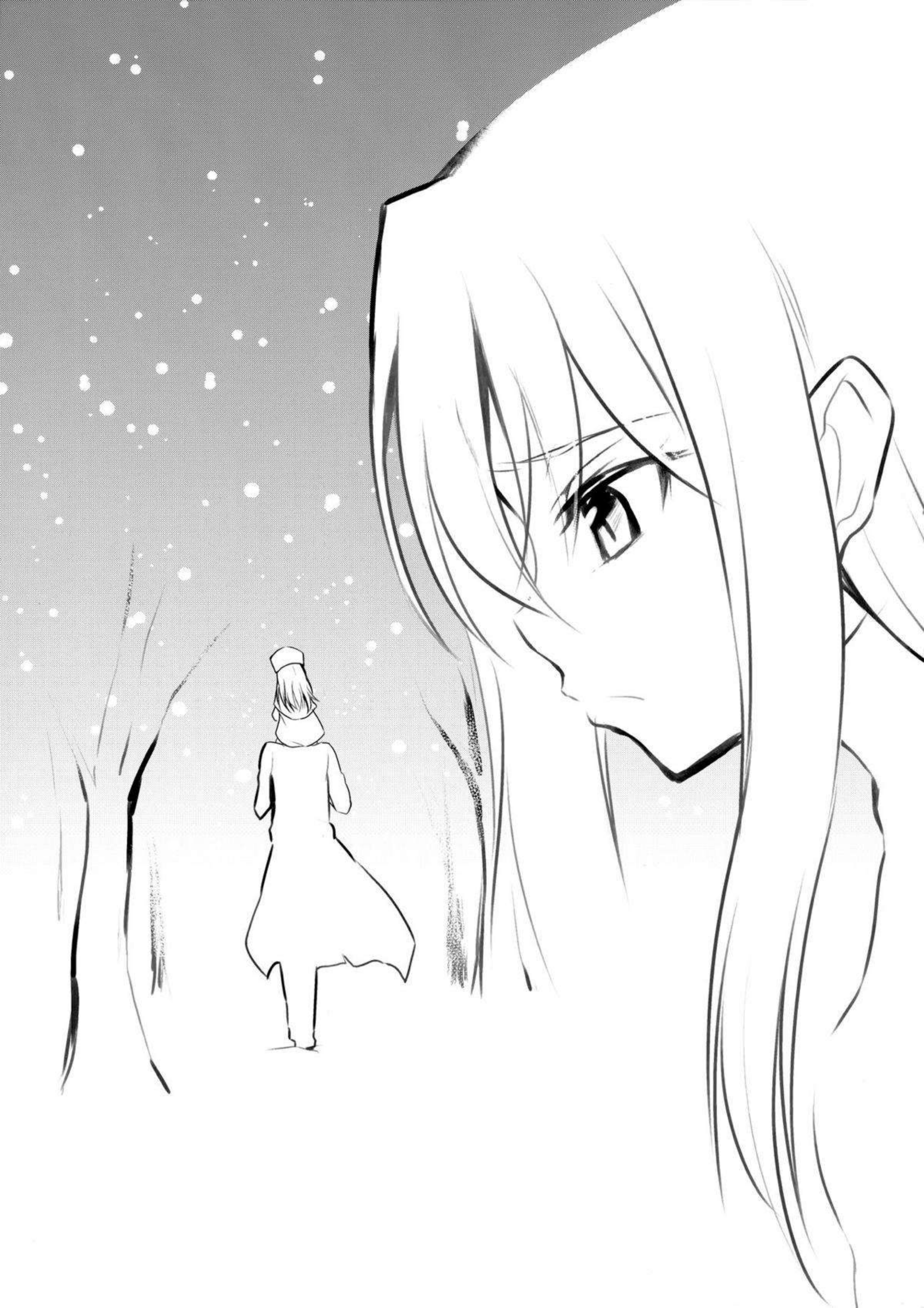


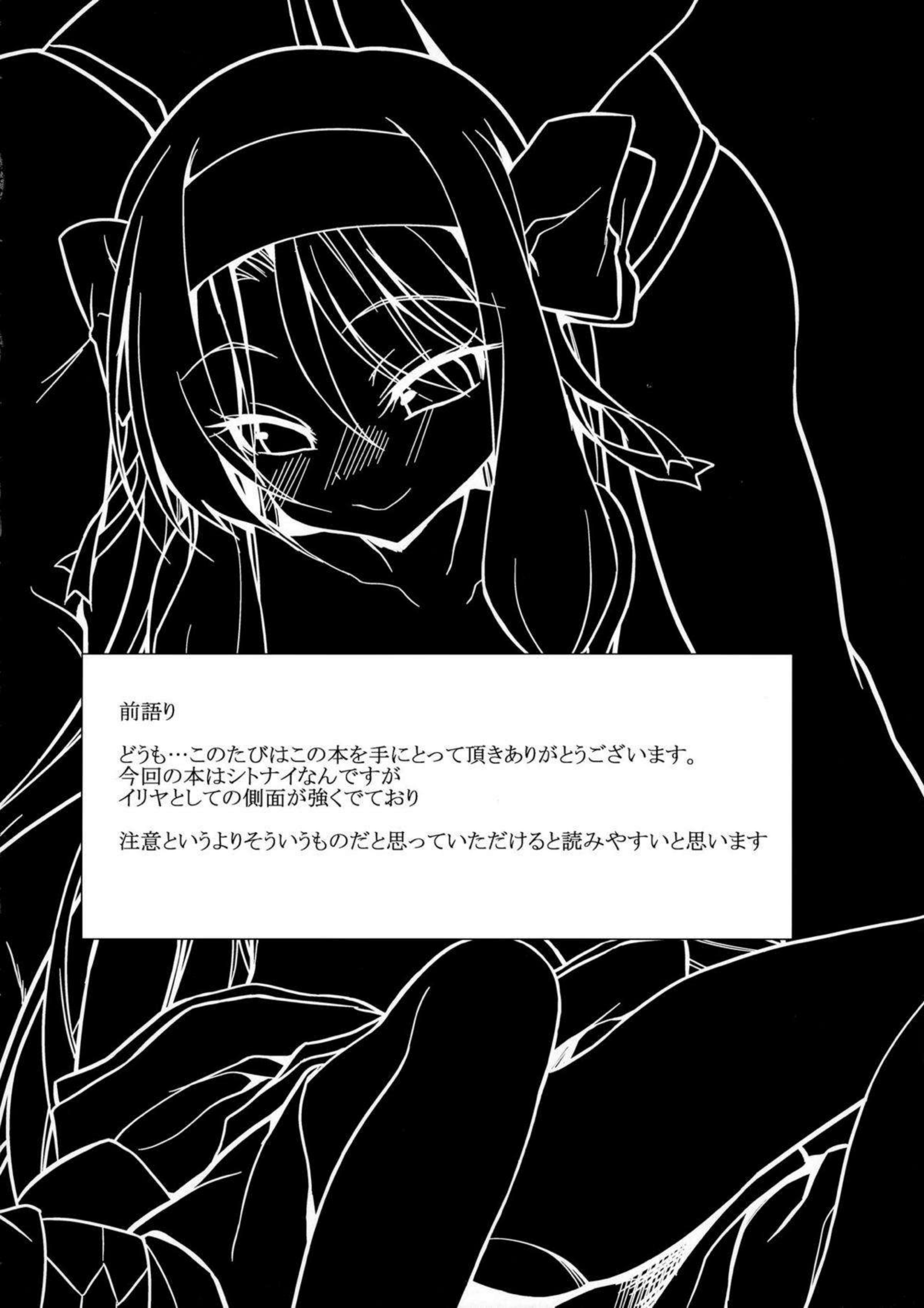
身体が

覚えている

DOJIN
R18
成人向け

18歳未満の
購入・閲覧禁止





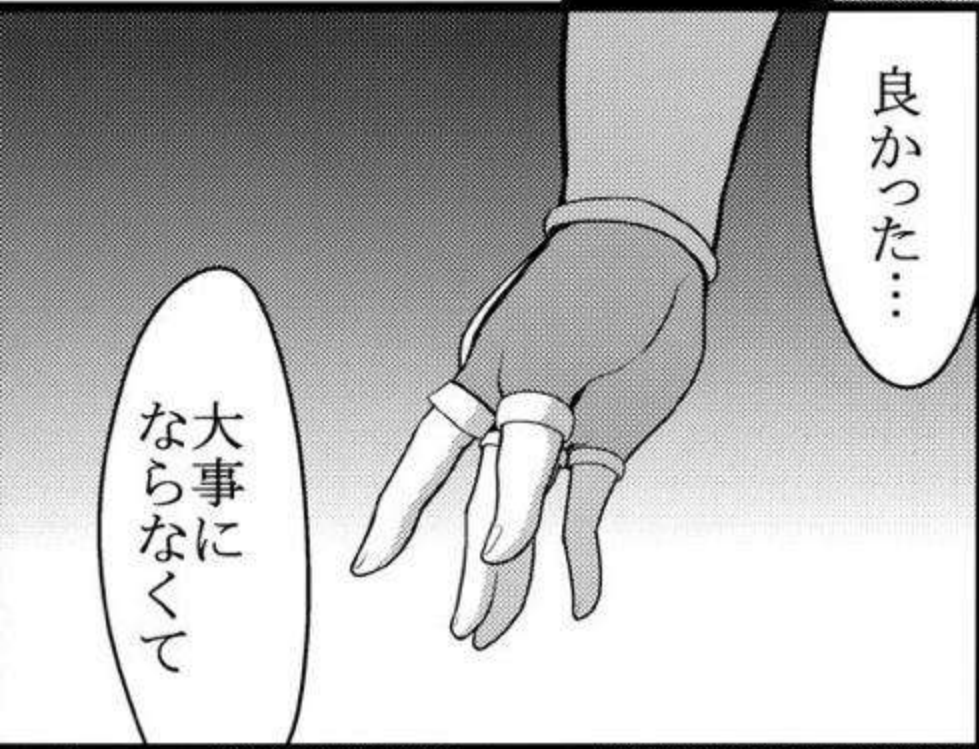
前語り

どうも…このたびはこの本を手にとって頂きありがとうございます。
今回の本はシトナイなんですが
イリヤとしての側面が強くており

注意というよりそういうものだと思っていただけると読みやすいと思います

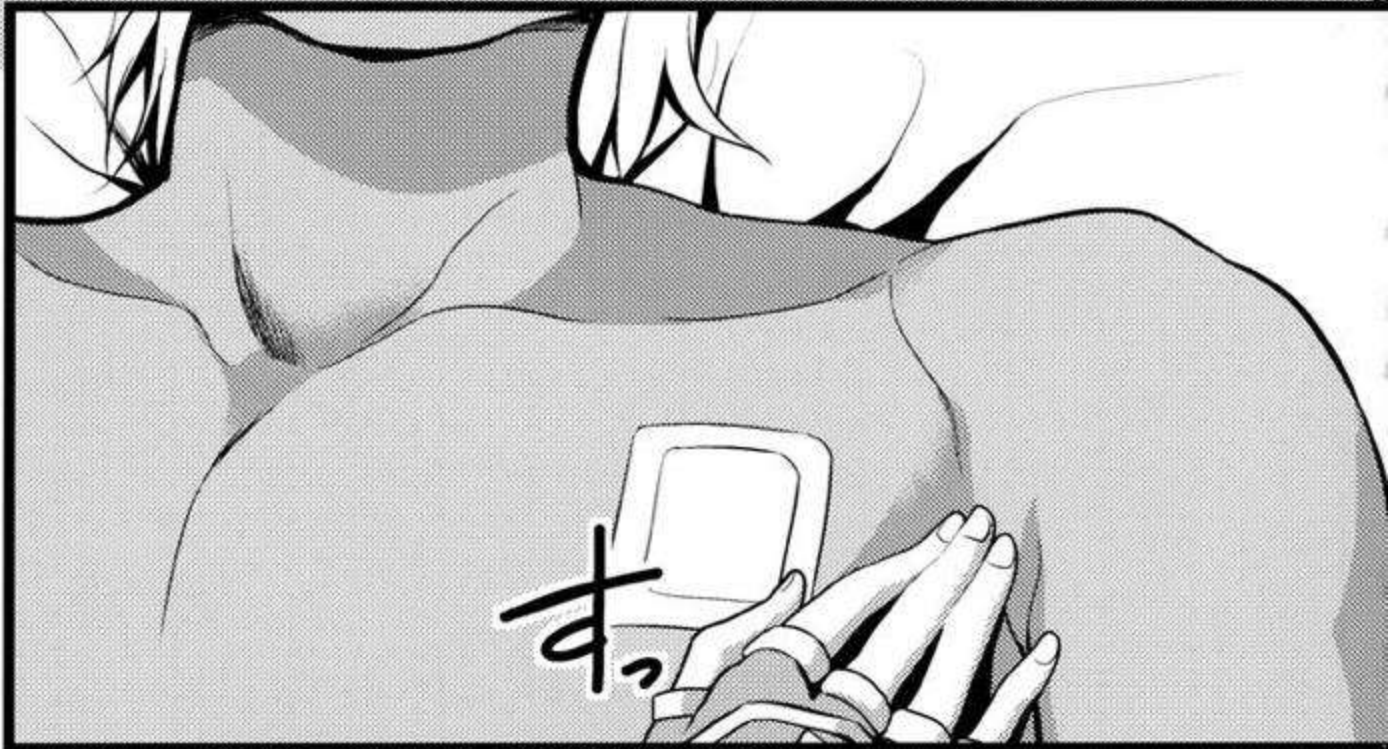


ごめん…なさい



良かった…

大事にならなくて



すっ



シロウ…

イリヤスフィールとしての感情が出すぎたのかな…

キリッ

許せりい

感情がコントロールできなくて

今にして思えばアインツベルンとは出会わなかつた切継なのに

イリ…ヤ

え…？



イリヤ…
じゃなくて

すまない
シトナイ…

イリヤでいいよ…

?



依代になった少女の人格ゆえか
残った想いが痛い…

シトナイ？

シロウ…

この身体…いや
魂のせいだと思う



シロウは…そんな姿英霊になっても
根っこは変わってないみたい



シロウにまで
その他大勢のために
生きて欲しくなかった…

そんなことなら
お人形さんにしちゃえば
良かったかなあ

さらりと
恐ろしいことを…

どうせ物分りのいいフリしたって
なにも残らないもの



だから…

籠絡しちやうね

抵抗…しないんだ

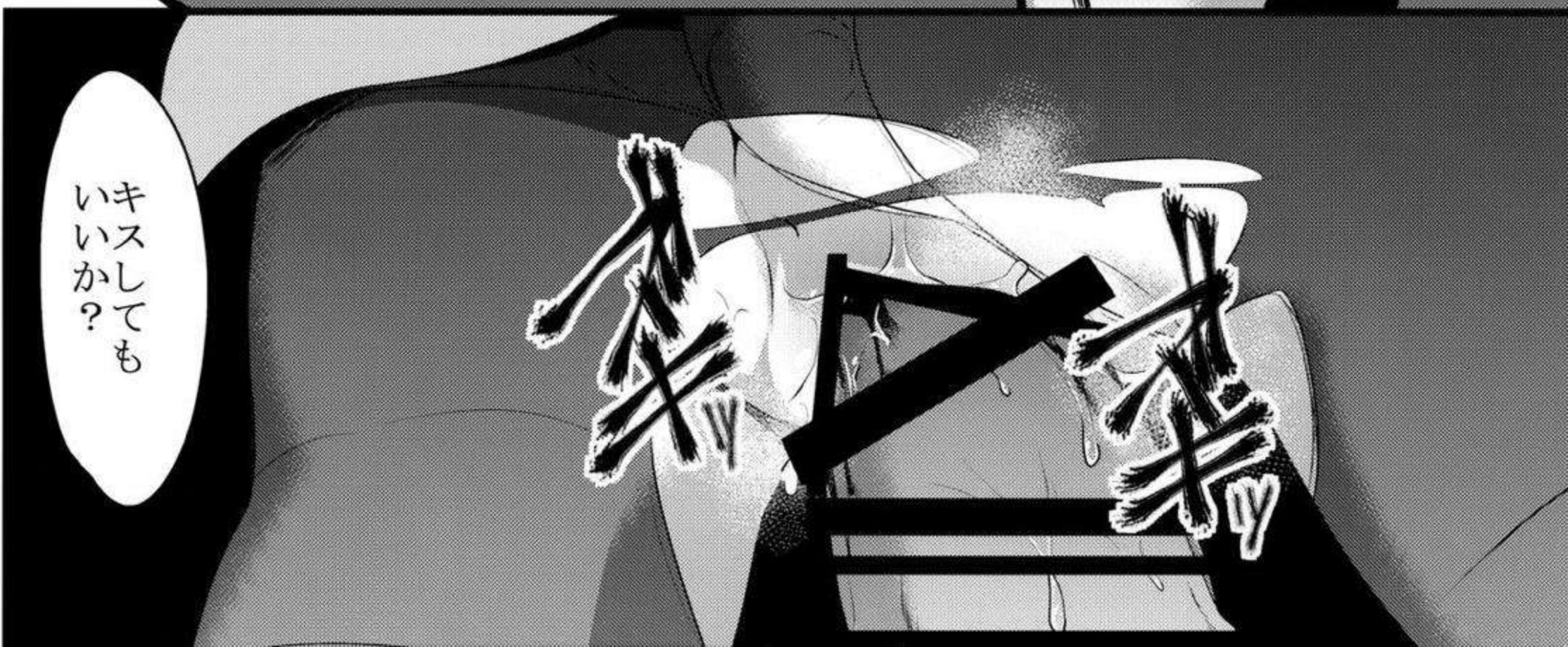
じゃあ…
いれちやうね

うっ…

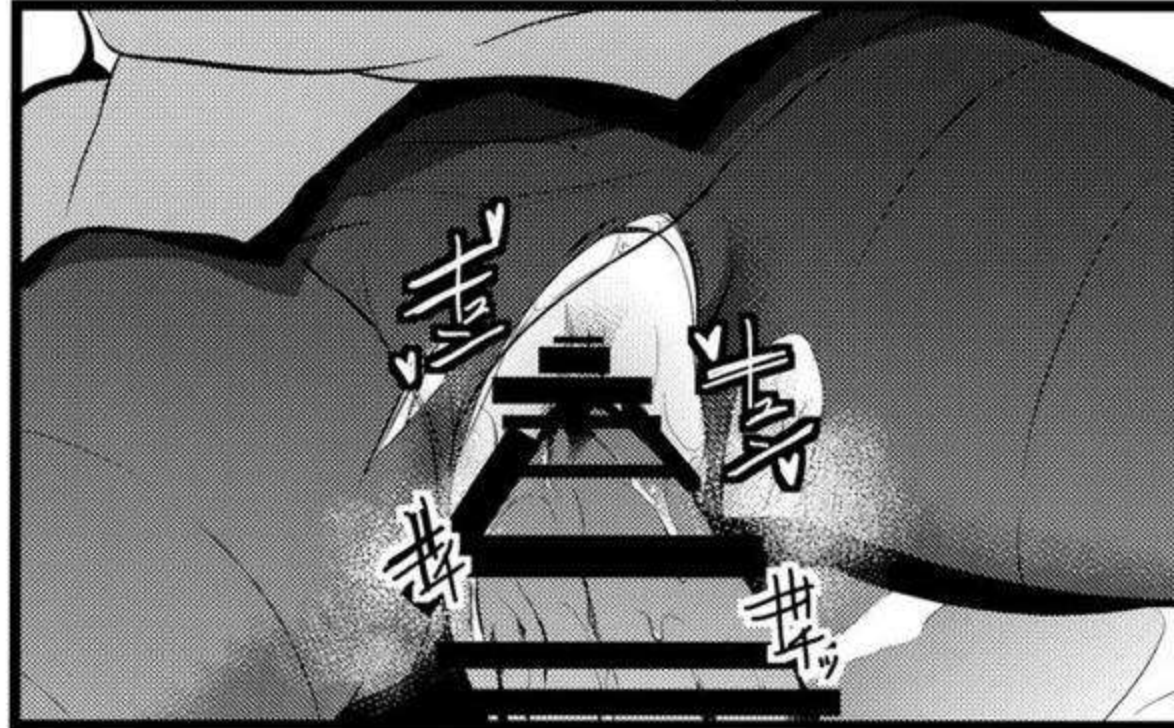
あ…

ん





いいか？
キスしても





シロウので満たされて...

めろめろ

めろめろ

めろめろ

いっぽい



え？シロ...
...あつ

ふ...ふかあつ

んっ

んっ

んっ

んっ



繋がっちゃってる...

満たされてる...

求められるのが嬉しい

は

あ

んっ



この...方が興奮...
す...るんだあ...

あつ...後ろからなんて



シロウを
背中に...感じる

あ...あ...



後ろからの方が
深く抱きしめられるからな

あつ...はあん



ん...ん...

あつ...はあん



あ
あ

あ

あ

あ

あ

ん
あ
あ
あ

あ

あ

乱暴だったかな…

しばらく
こうしていよ……

ああ…

あつ

絶対またしようね

最後はなんていうか
じわーびくーって
良かったっていうかー

ああ今度は
もつと準備を…

準備…
凄く変態なこと
考えてそう…

あとがたり

キリツグの後姿はシトナイの幻視ということでよろしくお願ひ致します。
サークル『ロリコントラップ』の『Lとらっぷ(旧いっぽん)』です
ちょいちょい仕事でサークル名を名義にしてたら
販売面でくっそ困ると大反響だったのですがいっぽんという名前は色々被るし
こういう処置取りました。

実は少しだけこの本続きますが…ちょっと間を置きたいのでこのようなタイミングで
あとがきを挟みました。

内容的には切嗣の話になるので
本編はここまでといえます。

せっかくなので少し長い文章になりますが
Fateの同人誌を始めたきっかけは劇場版のHeaven's Feelでした。
特にFate/zeroという本編の前日譚は原作のゲームのあとに出たもので
劇場版ではZeroの時間軸を後ろに感じられる描写も多く原作そのものとは違った
大切な魅力が詰まっててブルーレイも買いました。
Zeroのファンなので同じことを同人でもやりたいと思ったのがきっかけで
Fate同人に入りました。

まあ…好きなキャラがFGOには大かったのもありイリヤを真っ先に描く感じでは
なかったんですがイリヤの本をどう描くのかという答えを持ち合わせていなかった
ので今日に至りシトナイ本描きました。

もっとエモくてしこいやり方はあったかもしれないが…今の僕には見出せなかった
のでエロパートと前後の話は完全に分けました。
なのでちょっとここで間を置いています

来年の春に完結というので今回はシトナイ…夏にはイリヤ本を出そうと思ひまして。

未熟だとしても劇場版の完結タイミングならもうここで時が熟すのだらうと思ひます。
きっと桜もですが
イリヤのファンも興奮する頃合ですし…自分がなによりそのタイミングでイリヤを
求めるので描かないのはありえないと思ひてます。

「僕はね…正義の味方になりたかったんだ」

だけどそれは…

「うん、しょうがないから俺が代わりにになってやるよ。
爺さんはオトナだからもう無理だけど、俺なら大丈夫だろ。
まかせろって、爺さんの夢は」
——俺が、ちゃんと形にしてやるから。

——それは…僕の知らない僕の記憶——



あの子もまた
きつと僕が不幸にして
しまったんだろうな…

僕は不幸にしてばかりだ



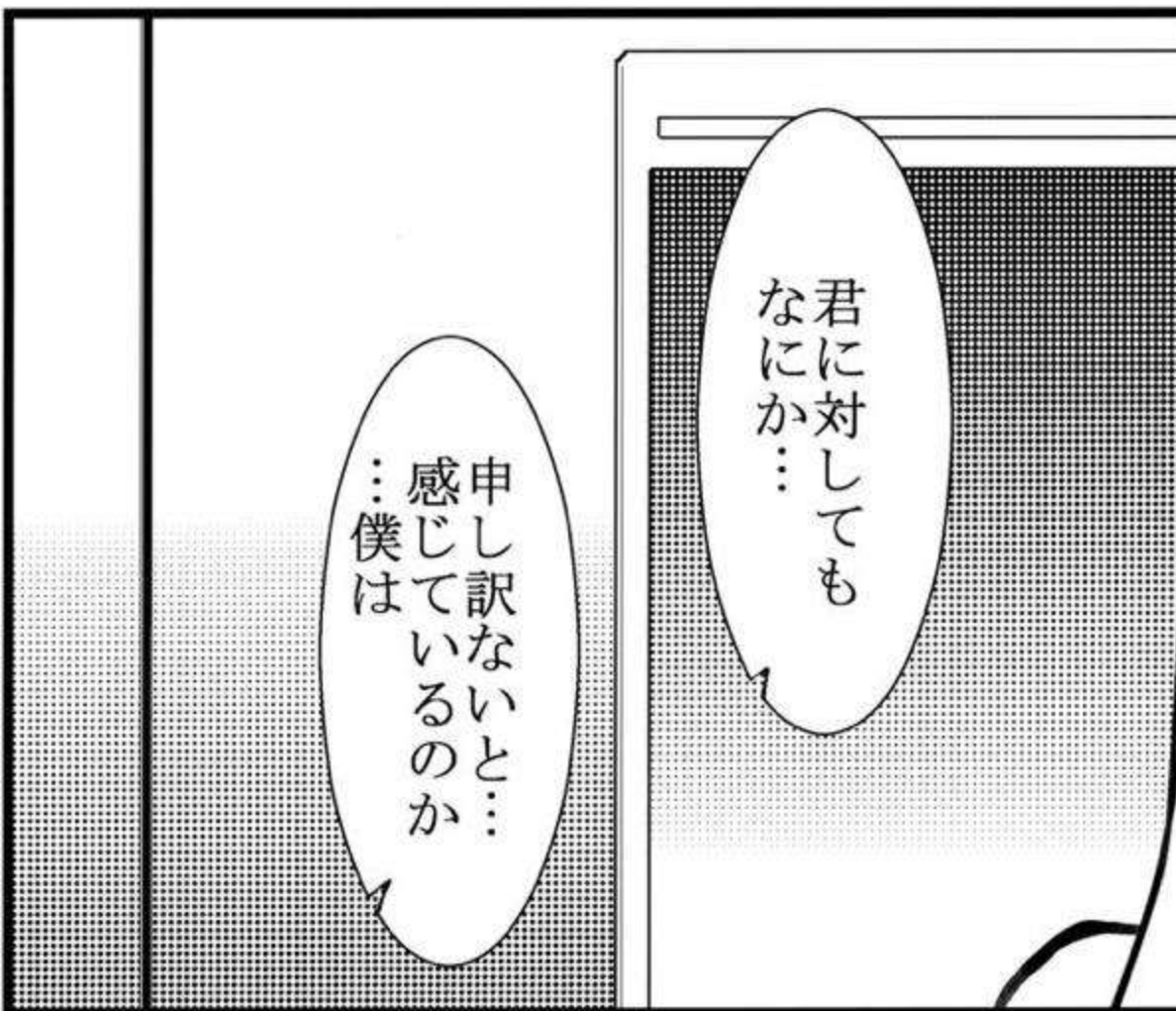
シロウ…



君は



そいええ…
それは違うわ



君に対しても
なにか…

申し訳ないとか…
感じていいのか…
：僕は



ああ



私は幸せだったわ

でも貴方は
私を愛してくれた

だから貴方の意思を
継いだあの子なら
きつとイリヤにも
同じものをくれる…

それは私だけじゃ
なかったけれど

そして愛することを…

貴方に意志を持つ事
を教えられた…



そうか…君とであつた僕は
きつと…

君に同じものを
貰つたんだらうね…



少しだけ補足を兼ねた後語り

ラストシーンはFate/ZeroED2のパロです。
扉絵と後日談の線画の質や仕上がりは意図的に変えました。
漫画として反則かもしれませんが当本において本編はあくまでえっち
その前後に挟むエピソードはおまけというのを質を変えることで自然にしたかった。
+++++

さて内容に触れますと
Zeroの衛宮切嗣という男とカルデアの彼は別人。
アーツベルンと邂逅することなく正義を貫いてしまった存在なのは
自分でも理解しています。

しかしながらFGO内でプリヤ組に対する態度など仄かな繋がりを感じるシーンも
見受けられたので
アーツベルンと邂逅した自身のIFに対して痛みを感じているという風に描きました。

それなら衛宮切嗣の物語ではどうか？
…エロには少し重くなんていうかちんこ入れたら話が違うと思い。
そこは士郎に…そもそも衛宮士郎という人物のIFが無銘の英雄なので。
相当重なる上に士郎もまた切嗣にとってはアーツベルンと邂逅した故の
縁であり同じ路を行ってしまった息子。

士郎を主軸にすればイリヤの物語にもなると思いました。

まあ…シリアスは極力カットして切なく苦い過去を持つ2人が
もう少し我侭になればこうなったのにといい形でいちゃらぶする話にしました。

制作:ロリコントラップ

PIXIV:1030889

Twitter:<http://twitter.com/ltrap1>

印刷:ねこのしっぽ

MAIL:ltrapippon@yahoo.co.jp

